

## 「東京大学サマープログラムの最終発表会」参加報告

平成29年8月11日、東京大学 サマープログラムの最終発表会が  
サンポートホール高松で開催されました。

同プログラムでは、県内5つの高校生が、国内外の大学生と一緒に、  
オリーブや素麺などの特産品に絡んだ新商品や、農村歌舞伎などの  
地域資源を利活用し故郷を活性化する方策について英語で発表しました。



挨拶する東京大学の堀井教授



前日深夜まで練習した成果を英語で発表する高校生たち



- 地方創生が始まって何年か経ちますが、高校生達はわずか数日でその本質を見極め、プレゼンテーションを行いました。
- “Meaning of Life” “Enjoy for work” “Share the Passion” など単純で心に響くフレーズで地域イノベーションを、彼らの言葉、若い感性で伝えました。単純な言葉は、発表を聞いていた大人たちの心に響いたように感じられました。
- コメンテーターとして参加させていただいた筆者も感銘を受けました。I deeply moved my soul.



認定証を授与され記念撮影する出席者